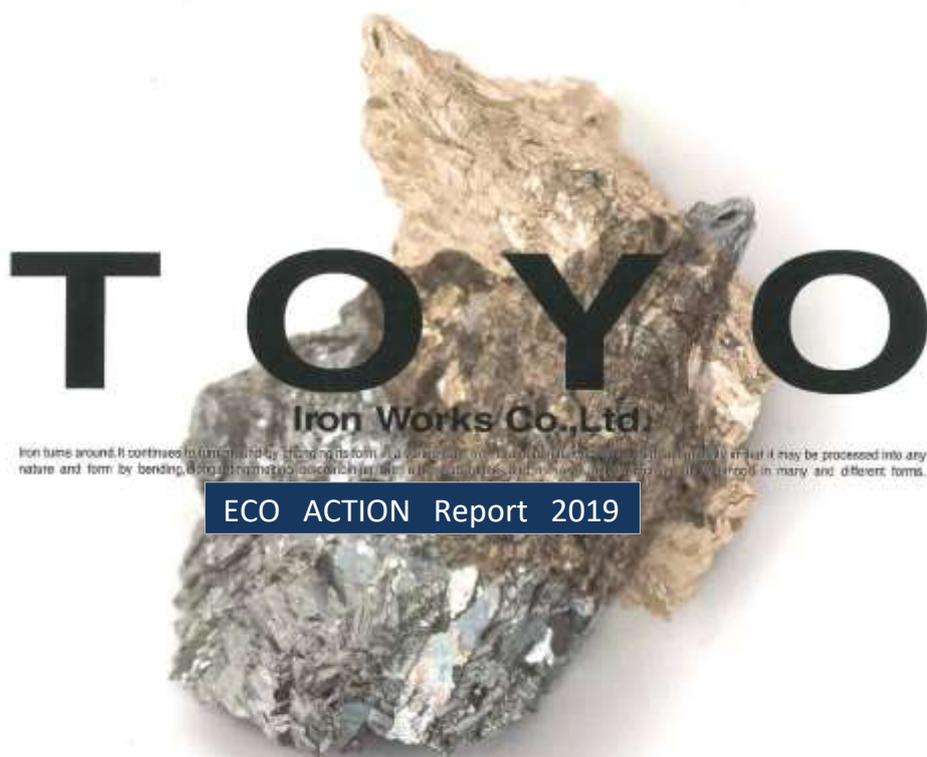


東洋製鉄株式会社
本社管理室
環境活動レポート

2019

活動期間 (2019年5月～2020年4月)
2020年4月30日発行



Iron turns around. It continues to turn and by changing its form it can be used in many different ways. It is so versatile that it may be processed into any shape and form by bending, drawing, rolling, etc. It is so strong that it can be used in many different ways. It is so hard that it can be used in many different ways.

東洋製鉄株式会社

<http://www.toyositetsu.co.jp>

CONTENTS

東洋製鉄の概要

会社概要 1

事業内容・主な環境負荷実績 2

Plan・Do・Check

環境方針 3

環境目標及び実績 4

環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容
5,6

環境関連法規制等の順守状況 6

Action

代表者の全体評価と見直しの結果 7



環境への取り組み

当社では環境に優しいことも、製品の重要な性能のひとつと考えています。



当社は、各製造拠点で部材選定から各工程まで、環境に十分配慮した製造活動を行っており、本社管理室では自ら省エネルギー活動を推進しながら、各製造拠点へ環境情報の発信するなど積極的にアクションを起こし続け、環境面でも社会に貢献して参ります。

□会社概要

事業者名 東洋製鉄株式会社 本社管理室

代表者 代表取締役社長 音頭 宏紀

所在地 〒533-0004 大阪府大阪市東淀川区小松1丁目15番18号

環境管理責任者 総務部長 山田 尚丈
担当者 樋谷 弥太郎
連絡先 TEL : 06-6328-7631 FAX : 06-6328-7826

事業内容 カウンターウエイトの製造及び販売の管理
経営・管理業務、総務・人事・経理事務

事業の規模
2019年4月決算 19,170,816千円
全社売上高 (但し、本社単独の売上は無し)

従業員 12名
延べ床面積 184㎡

事業年度 5月～翌年4月

認証・登録範囲・活動

登録事業者名 東洋製鉄株式会社
対象事業所 本社管理室

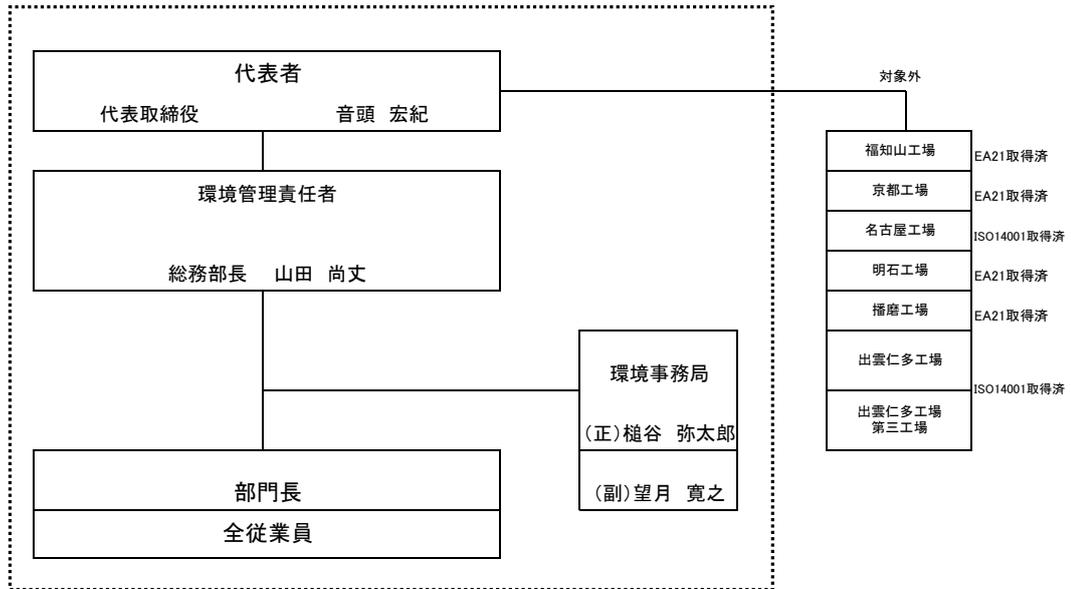
対象外

	住所	従業員	延床面積	取得状況
福知山工場	京都府福知山市長田野町2番45号	37	13,251㎡	EA21取得済
京都工場	京都府乙訓郡大山崎町字下植野小字五条本28	59	6,850㎡	EA21取得済
名古屋工場	愛知県半田市板山町1丁目80番地	32	3,800㎡	ISO14001取得済
明石工場	兵庫県明石市二見町南二見10番地4	25	1,950㎡	EA21取得済
播磨工場	兵庫県加古郡播磨町東新島9番地	18	3,180㎡	EA21取得済
出雲仁多工場	島根県仁多郡奥出雲町上阿井2467番地	61	7,048㎡	ISO14001取得済
出雲仁多第三工場	島根県仁多郡奥出雲町上阿井178番地1	20	2,160㎡	

(2020.4.30現在)

活動 カウンターウエイトの製造及び販売の管理

□実施体制図及び役割・責任・権限表



□事業内容

製品紹介

当社の鉄は、ウエイトという姿に形を変え、
社会の随所で重要な役割を果たしています。



鑄造関連
カウンターウエイト

パワーショベル

建設機械のパワーショベルは現在、安全性も求められている中で後方小旋回、超小旋回のタイプが各メーカー共主流になりつつあります。その中で、自社のカウンターウエイトの現在の役割は、本機に対し少ないスペースで本来のウエイトの役目をし、場所によればエンジンカバー的な場合も形状的に対応しています。また本機のデザインのラインを、ウエイトにも生かすことができ、デザイン的にも優れた製品を自社の独自技術で生産可能としています。自社では40kg/1pcs～12t/1pcsのウエイトまで生産可能で薄い形状や複雑な形状にも対応できます。

寸法・精度においても無加工で製品に近い品質・精度をもち、

特に試作時など三次元対応のレイアウトマシンによる測定により、求められている寸法は確実に確認できます。

また、鑄物という性質上、使われなくなった建機のウエイトを再び溶かして使うことにより、リサイクルも可能です。



寸法 (幅×高さ)	550mm×180mm ~ 3,080mm×1,460mm	重量	40kg/1pcs ~ 12t/1pcs
-----------	-------------------------------	----	----------------------



環境方針

<基本理念>

クリーンで安全に優れた品質の製品を提供することにより、住みよい地球と豊かな社会づくりに貢献する。

<環境憲章>

1. 人と環境にクリーンな商品を提供するため、製品の製造・使用・廃棄に至るすべての段階において環境に配慮した企業活動を行う。
2. 環境保全を大切にした企業活動を進めるため、各工場間の連携を更に高めマネジメントの強化に努める。
3. より良い地球環境の実現を目指して、環境保全に関わる社会の幅広い層との連携を密にし、情報の公開を行い、社会公共の環境改善活動に協力参加すると共に啓発活動を推進する。

<環境保全への本社の行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 電力及び燃料の二酸化炭素削減
 - ② 一般廃棄物削減及び再資源化の推進
 - ③ 水の使用量の削減
 - ④ 環境に配慮したグリーン商品の購入
 - ⑤ "環境配慮"への取り組み（年2回、環境情報発信）
2. 環境関連法規制や当社の約束した事を遵守します。
3. 上記の環境方針を従業員に対し周知します。

制定日：2017年1月1日

東洋製鉄株式会社

代表取締役社長

音頭宏紀

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	12,077	11,306	10,569
一般廃棄物排出量	kg	643	552	576

□ 環境目標及びその実績

環境目標	単位	2015年	2019年度			2020年度	2021年度
		(実績) 基準値	(目標)	(実績)	(達成)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	7,637	7,331	4,943	○	7,255	7,179
	(基準年度比)%		96%	65%		95%	94%
自動車 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	7,251	6,961	5,512	○	6,888	6,816
	(基準年度比)%		96%	76%		95%	94%
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	14,888	14,292	10,455	○	14,143	13,994
	(基準年度比)%		96%	70%		95%	94%
一般廃棄物 の削減	(kg/年)	1,239	1,189	576	○	1,177	1,165
	(基準年度比)%		96%	47%		95%	94%
水使用量の削減	個別メーターが無いため、活動計画による取組						
環境配慮	環境情報発信	社内報への 環境情報発信	活動計画による取組				

※電力の二酸化炭素排出係数：0.418kg・CO₂/kWh（関西電力の2017年度値）

□ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度への取組内容）
電力による二酸化炭素削減	◎	<p>・2018年11月に取り換えたエアコンの恩恵により、今年も上半期あたりまで前年度より下回る月が多かった。なお、次年度へ向けては本社の改修工事に伴い冷蔵庫を買替予定なので、それによる電力消費の削減に期待している。また、2020年6月より空調にプロペラを設置しており、それにより以前までより温度設定を上げているので、来年度はそれによる効果にも期待したい。</p>
・不要照明の消灯	◎	
・不要空調の停止	◎	
・空調の適温化	△	
・空調、照明の定期的な清掃	○	

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度への取組内容）
ガソリンによる二酸化炭素削減	◎	<p>2020年2月辺りからコロナウィルスが流行し始めたことで、社内会議や出張等による自動車の使用頻度が減ったこともあり、結果的に前年度より削減出来た。ただ、能動的な施策を講じて得た結果ではないので、次年度においても可能であれば、Web会議を本格的に導入するなどして、自動車の使用率を下げていきたい。</p>
・アイドリングストップ・エコドライブの確実な実施	○	
・定期点検の実施	○	
・公共交通機関の利用促進	◎	
・低燃費車の導入	△	

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度への取組内容）
一般廃棄物削減	◎	<p>以前からのごみの分別、リサイクル処理、不要紙面の活用を継続して行った。今年度は本社の改修工事が控えている為、大掃除を行った結果、廃棄量が増加した。今回の増加は一過性のものとして捉え、来年度以降もこれまでと同様に僅かながらでも削減出来るよう努めたい。</p>
・分別の徹底	○	
・不要紙面の活用	◎	
・雑誌、新聞、機密文書等の紙類のリサイクル処理	◎	

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度への取組内容）
水道水の削減	△	当事業所の水道使用量については、事業所にメーターが設置されていないので計測できない。その為、他項目に比べこちらは取り組み方が消極的になっていた。次年度は、左の欄の達成状況を全て○にしたい。
・日常使用でのこまめな節水	○	
・漏水の定期点検実施	×	
・蛇口に節水こまの設置	×	

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度への取組内容）
グリーン商品購入		今年度は変わらず事務用品のグリーン購入は進めていたが、環境に関わる機器の買い替えは特に行わなかった。
・事務用品のグリーン購入	○	
・環境に配慮した機器の購入	×	

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度への取組内容）
環境配慮	○	2019年8月発行の社内報に、グリーン購入についての掲載ができた。今後は他事業所の環境規格認証の取得や更新、活動についても情報を集め発信していく。
・社内報へ環境情報を掲載	○	

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正排出	○
フロン排出抑制法	空調機器の簡易点検	○
省エネ法	特定事業者としての定期報告	○
消防法	消火器保管・避難経路確保	○

□ 代表者による全体評価と見直し、次年度への取組みについて

全体評価 および 今後取組	<p>今回も、エコアクション21への取り組みにより、多くの環境目標を達成できた。</p> <p>前年度に買い替えたエアコンの恩恵は今年度にも引き継がれ、電力消費によるkg-CO2の排出量は607kg-CO2削減出来た。一般廃棄物の廃棄量は若干ながら前年度より上回ったが、その他の項目では総じて芳しい結果を残せた。また、今年度の結果には反映出来ないものの、長年取り組むのが難しかった空調の適温化も、プロペラを導入したことにより現実味を帯びてきた。それに加え本社の大規模修繕による古い家電の買い替えなど、来年度は色々と削減効果を期待できるトピックが目白押しである。</p>
---------------------	--

代表者による見直し	変更なし	変更あり
「環境方針」	○	
「目標・活動計画」	○	
「実施体制他」	○	

東洋製鉄株式会社本社管理室
〒533-0004
大阪府大阪市東淀川区小松1-15-18
電話:06-6328-7631
FAX:06-6328-7826
発行 2020年4月30日